

## 第5回

# Carbon dioxide Capture & Storage フォーラム

## 残された30年、CCSを如何に活かすのか

日 時：平成27年2月16日（月）13:00～18:00

場 所：東京大学工学部 武田先端知ビル5階 武田ホール  
（東京都文京区弥生 2-11-16 本郷キャンパス浅野地区）

参加費：無料／要旨集代：2,000円／意見交換会費：3,000円

後 援：The Global CCS Institute

協 賛：東京大学エネルギー工学連携研究センター（CEE）

東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター（APET）

- |             |   |  |               |
|-------------|---|--|---------------|
| 13:00～13:10 | 開会の辞  | 東京大学 大学院工学系研究科副研究科長                                    | 大久保達也         |
| 13:10～13:30 | はじめに：CCS 実用化の課題とは実際何か                                   | 東京大学 大学院工学系研究科教授                                       | 佐藤光三          |
| 13:30～14:10 | Global Status of CCS: 2014 "A Watershed Period for CCS" | The Global CCS Institute, General Manager-Asia Pacific | Clare Penrose |
| 14:10～14:50 | 低炭素社会における CCS の位置づけ                                     | 環境省 地球環境局低炭素社会推進室長                                     | 瀧口博明          |
| 14:50～15:30 | CCS 実用化に向けての安全性及び PA の取り組みについて                          | 地球環境産業技術研究機構 CO <sub>2</sub> 貯留研究グループ主席研究員             | 薛 自求          |
|             | 休 憩   |  |               |
| 15:50～16:30 | 地質工学的視点からの本邦 CCS 対象層について                                | 京都大学 大学院工学研究科教授  | 松岡俊文          |
| 16:30～17:10 | 北海道・苫小牧 CCS 実証試験の現状と今後の予定                               | 日本 CCS 調査株式会社 技術企画部長                                   | 田中 豊          |
| 17:10～17:50 | CCS 政策について  | 経済産業省 産業技術環境局地球環境連携室長                                  | 永澤 剛          |
| 17:50～18:00 | 閉会の辞  | The Global CCS Institute 取締役                           | 赤井 誠          |
| 18:00～19:30 | 意見交換会（武田ホールホワイエにて）                                      |  |               |

### 参加申込み：

2月9日（月）までに Web フォームよりお申込みください。定員 240 名に達し次第締め切らせていただきます。 <http://www.frцер.t.u-tokyo.ac.jp/>

### お問合わせ：

東京大学大学院工学系研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター事務局  
Frontier Research Center for Energy and Resources, The University of Tokyo  
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 工学部 3 号館 Tel: 03-5841-7015  
E-mail: [office@frцер.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:office@frцер.t.u-tokyo.ac.jp)

